

「からくり改善[®]くふう展 2024」に出展

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、11月13日、14日に、ポートメッセなごやで開催される「第29回からくり改善[®]くふう展 2024」に出展します。

本展示会は、テコや滑車などのシンプルな機構の「からくり」を豊かなアイデアで組み合わせ、低コストかつ省エネルギーに製造現場の困りごとを改善した事例を企業が紹介し合い、切磋琢磨するものです。

当社は、働きやすい職場づくりの推進と、柔軟な改善力を養う人材育成のため、積極的なからくり改善の実践に取り組んでいます。その一環として、社内にて改善作品コンテストを2003年から毎年開催し、累計改善事例は364件にも及びます。本展示会には2021年から出展を開始^{※2}しました。

これからも当社は、日々のからくり改善の実践を通じて、誰でも働きやすい職場づくりとモノづくり力のレベルアップに努め、お客様に貢献してまいります。

※1 「からくり改善[®]」は、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の登録商標

※2 2021年、2023年の出展では数百作品におよぶ出展作品の中で努力賞を受賞

【出展概要】

- 会期 : 2024年11月13日（水）10:00～17:00
14日（木）10:00～16:00
- 場所 : ポートメッセなごや（名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地）
- URL : <https://jipm-event.com/karakuri/exh/exh-guide>
- 出展内容

出展 No.	作品名	作品概要
No.1401	配管フランジオープナー	工場内に張り巡らされた配管のバルブ取替の際に行うフランジを開く作業を、ネジ機構の活用で、より安全、楽に素早くできる治具を作成。
No.1402	Easily Snap ring Catcher	設備機械等のベアリングを固定する部品、スナップリングの脱着を、リンク機構の活用で、より安全、楽にできるように道具を改善。
No.1403	ミニチュアリレー接点診断機の製作 ※「現場発！手作りDX」に出展	様々な電気機器の制御に用いるリレーの良否を自動判定する診断機の作成で人由来のミス、ムラのない診断実現。良いリレーは再利用し原価低減にも貢献。